

## □景観チェックリスト（その1）の記入例

例：「建築物の新築」と「工作物の新設」を同時に行う場合（表）

景観チェックリスト（景観計画区域のうち景観形成重点地区以外の区域）			
対象事項	景観形成基準	チェック欄	
建築物	高さの 最高限度	原則13m以下とする（公益上又は機能上必要な場合を除く。）。	○
		周辺の建物との連続性や眺望を妨げないように配慮する。	○
	壁面の位置 の制限	周辺の建物の壁面位置やまち並みの連続性に配慮する。	○
	建築物 の形態	周辺との調和に配慮する。	○
		屋根形態は、周辺の建物との連続性に配慮する。	○
	屋根・外壁の 素材・色彩	光沢の強い材料の使用は、避ける。	○
		基調色には、推奨色を使用するように努めるとともに、禁止色を使用しない（柏崎市景観計画の色彩基準を参照すること。）。	○
	その他意匠	建築物全体が統一感のある意匠になるように配慮する。	○
	建築設備	道路等の公共の場所から見えにくい位置に設置するように努める。	○
		公共の場所から見える場合は、植栽や目隠しなどで修景に努める。	○
		太陽光発電設備や融雪設備を設置する場合は、設置位置などに配慮し、建物と一体的に見える形態のものを使用する。	○
	外構・植栽	敷地内の緑化や植栽に努める。	○
ゆとりと潤いのある空間の創出に努める。		○	

注意事項 各項目について配慮や工夫をした場合は「○」を、該当しない場合は「-」をチェック欄に記入してください。

(裏)

景観チェックリスト（景観計画区域のうち景観形成重点地区以外の区域）			
対象事項	景観形成基準	チェック欄	
工 作 物	形態意匠	周囲に突出感や違和感を与えないよう、高さや配置に配慮する。	○
		周辺との調和に配慮する。	○
		電柱や電線類は、景観に配慮した整理統合を図るとともに、設置する場合は、極力目立たないように努める。	○
	門・塀・柵	設置する場合には、周辺との調和に配慮する。	—
	植栽	周囲に圧迫感や威圧感を与えないように配慮し、敷地内の植栽に努める。	○
	色彩	光沢の強い材料の使用は、避ける。	○
基調色には、推奨色を使用するように努めるとともに、禁止色を使用しない（柏崎市景観計画の色彩基準を参照すること）。		○	
開 発 行 為	切土、盛土は、必要最小限とし、法面や擁壁が生じる場合には、周囲に与える圧迫感や違和感を軽減するように努める。	—	
	法面緑化や擁壁の前部緑化に努める。	—	
土 地 の 形 質 の 変 更	切土、盛土は、必要最小限とし、法面や擁壁が生じる場合には、周囲に与える圧迫感や違和感を軽減するように努める。	—	
	法面緑化や擁壁の前部緑化に努める。	—	
屋 外 に お け る 物 件 の 堆 積	堆積規模は、必要最小限とし、高さはできる限り低く抑え、かつ、整然と積む。	—	
	道路等の公共の場所からの見え方に配慮し、周囲の緑化や柵・塀等による遮蔽に努める。	—	
	柵や塀等の形態意匠、色彩、素材等は、周辺との調和に配慮する。	—	
<p>注意事項 各項目について配慮や工夫をした場合は「○」を、該当しない場合は「—」をチェック欄に記入してください。</p>			